

# 母親の“しつけ”が75.6%

## 市消費者運動連絡会の アンケート調査結果

富士市消費者運動連絡会（井出安江代表）は、このほど“子どものしつけ”についての市民アンケート調査を行いました。

調査は、市内の一般消費者 600 人を対象に同会員が調査対象世帯を訪問しながら聞きとり調査で調査票を回収しました。この結果、536人（男232人、女304人）から回答が寄せられ、回収率は89.3%でした。

この内訳は、30歳以下が46人(8.6%) 31歳～40歳が243人(45.3%) 41～50歳が210人(39.2%) 51歳以上が37人(6.9%)となっています。

また、子どもたちを学年別にわけてみますと、幼児期の子どもを持つ親が49人(9.2%) 小学生が186人(34.7%) 中学生が155人(28.9%) そして高校生を持つ親が146人(27.2%) となります。アンケートの調査結果は次のとおりです。

### 父親は9.4%と低い

【問い①】「あなたの家庭で主に子どもを“しつけ”るのは誰ですか」

【答】 この問いに対し、533人中75.6%にあたる403人が「母親」と答え、「父親」が“しつけ”している家庭はわずかに9.4%の50人でした。

【問い②】「あなたの家庭では、男の子と女の子で“しつけ”をとくに区別していますか」

【答】 「区別している」と答えた人は、全体の18.4%の96人ありました。その主な内容は“男は男らしく、女は女らしく”とする人が、49.2%、 “礼儀作法”をあげた人は33.8%もありました。

【問い③】「あなたの子どもの特に注意することはなんですか」

【答】 「ことば使いや礼儀作法」と答えた人は523人中34.6%にあたる181人ありました。そして「物を大切にすること」20.1%の105人、「食べものの好ききらいをいわないこと」17.4%の91人、「勉強すること」14.1%の74人、「テレビを見る時間を守らせること」6.9%の36人とつづいています。

【問い④】「一般的に子どものことで心配なことが増えてきたといわれていますが、なにが影響すると思いますか」

【答】 この問いに対しては528人が

回答し、その筆頭は「テレビや雑誌等の影響」が全体の33%にあたる174人がこれをあげています。そして「親のしつけ不足」が22.7%の120人、「友達の影響」7.2%の38人、「家族制度の変化」が4.2%の22人の順となっています。

【問い⑤】「あなたのお宅では、これから子どもたちに、どのような“しつけ”をすることが大切ですか」

【答】 この問いには、534人が回答を寄せ、「自立心や責任感のある子にしたい」が33.7%の180人、つづいて「人に迷惑をかけない子」が28%の150人、「素直で明るい思いやりのある子」26.6%の142人、その他となっています。

## 親と子の消費者展

と き 10月21日(土)・22日(日) 10:00～19:00

と ころ ユニー吉原店

主な催し “家庭と学校のしつけ”・“子どもの目、声、夢”  
“チビっ子広場” “ほんものとは…”  
“歯、薬のなんでも相談” など

主催 富士市消費者運動連絡会・富士市  
県東部消費生活センター